

まちの話題

6/29

智頭小学校四年生ほのぼの施設見学会



智頭小学校では、「人にやさしいまち 智頭」をテーマに、全ての人にとって暮らしやすい町づくりや公共施設について学習しています。

今回は、「ほのぼの」の施設見学を通して、病院と福祉課、社会福祉協議会が連携した、住民の生活を支える仕組みについて学びました。福祉課では、妊娠・子育てに関する相談から高齢者福祉に関することまで幅広い相談に対応し、住民の健康や暮らしを支える役割について説明を受けました。智頭デイサービスセンターでは、利用者の体操の様子を見学し、後出しじゃんけんを体験。車いすのまま入浴できる設備にも触れました。智頭心和苑では、デイルームや浴室のほか、車いすや電動ベッド、寝たまま入浴できる機械など介護に必要な用具を見学しました。

また、施設内に設けられた手すりや歩行器、見やすい案内表示、ハートフル駐車場、エレベーターなど、誰もが利用しやすい環境づくりの工夫について理解を深めました。

今後は、認知症ワークショップや車いす体験を通して、自分たちにできることや暮らしやすい町づくりについて学びを深めていきます。



7/4

戦後81年 智頭町戦没者慰霊祭を挙行了しました ほのぼの ひだまりホール



7月4日に挙行了した本年度の戦没者慰霊祭には、遺族会会員をはじめ一般町民など、約70人が参列されました。

町長の慰霊の辞では、「今日の我が国の平和と繁栄は、戦没者の尊い命と、ご遺族の苦難の歴史の上に築かれている。これらの悲しみ、苦しみを二度と繰り返さぬよう、平和な社会を守り続けることだけが、戦没者の心を鎮める事にほかならない。そのために、悲惨な戦争が実在したこと、英霊とご遺族の皆様の思いを、子々孫々に伝えていかねばならない」という思いが述べられました。

慰霊祭に続き、鳥取県遺族会から、「平和の語り部」の活動が紹介されました。

この活動は、戦争体験者や遺族の記憶、地域に残る戦争の歴史を記録し、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へ伝えることを目的としています。

戦争体験者が少なくなる中、その記憶をどのように受け継いでいくかが課題となっています。戦争にまつわる話や体験談などがありましたら、鳥取県遺族会までお寄せください。皆さまの記憶や思いが、未来の平和につながります。

一般社団法人 鳥取県遺族会 鳥取市本町三丁目201 ☎0857-39-2270

まちの話題

6/23

クマ学習会を開催しました！ 智頭小学校



智頭小学校1年生の児童29人を対象に、クマ学習会を開催しました。(講師：(株)野生動物保護管理事務所)

スライドを使用した学習会で、ツキノワグマの生態や、万が一ツキノワグマに出合ってしまった時の対処法などを学びました。そのほかにも、ツキノワグマの毛皮や頭蓋骨の標本を見たり、触れたりする機会もあり、児童たちは興味津々で、講師への質問も活発に行っていました。

本学習会に参加した児童からは「クマと出合わないために、鈴を付けて自分達がいることを知らせる」等の感想がありました。

町は、この事業に併せて、毎年、智頭小学校新一年生に「クマ鈴」を配布しており、この学習会により、クマ鈴を配布する意義等を理解してくれたと思います。今後も引き続き、クマ対策に関する取組を続けていきます。

学習会の内容概略

- 基本的には臆病な生き物なので、人の気配を察知したらクマの方から去って行くことが多い。クマの生息域に入る時は、クマ鈴やラジオなどによりまずは出合わないようにすること
- 万が一出合ってしまった場合は、慌てず、騒がず、クマの動きを監視しながら後ずさりしてその場から立ち去ること
※ただし、クマの動きは予見が難しいことから、これらはあくまでも生存率を高める行動です。
- 人にとっては、食べられないものでもクマにとっては餌となることがあるため、放置している果樹を撤去する、野菜クズなどを畑などに捨てないようにすることが大切

7/9

智頭町と智頭町複業協同組合が連携協定を締結



このたび、智頭町と智頭町複業協同組合は森林保全及び地域活性化に関する連携協定を締結しました。

今後、こもれびの森をはじめとした町有林をフィールドとして、森林内への植栽、ビオトープの整備による生物多様性の向上、マルチフォレストの育成等に取り組むことで、森林の価値向上と地域の活性化を目指します。

◀協定締結式の様子